



*The Japanese
Society of
Toxicology*

**Vol. 43 No. 6
December 2018**

毒性学ニュース

Toxicology News

一般社団法人日本毒性学会

The Japanese Society of Toxicology

毒性学ニュース

Contents

日本毒性学会からのお知らせ

日本毒性学会教育委員会からのお知らせ（第1報）	107
第21回日本毒性学会認定トキシコロジスト新規認定者	109
第46回日本毒性学会学術年会のご案内（第3報）	110
医薬品毒性機序研究部会主催 第1回医薬品毒性機序研究会	113
2019年度日本毒性学会特別賞候補者推薦要領	115
2019年度日本毒性学会学会賞候補者推薦要領	116
2019年度日本毒性学会奨励賞候補者推薦要領	116
第45回日本毒性学会学術年会要旨集の販売について	117

その他のお知らせ

第28回日本循環薬理学会	118
第16回食品安全フォーラム プログラム	118
第10回日本安全性薬理研究会学術年会	119

毒性学ニュース索引（43巻）

一般社団法人日本毒性学会の定款および規程類について

日本毒性学会教育委員会からのお知らせ (第1報)

教育委員会の各種事業は下記の要領で実施する予定です。詳細は決まり次第、学会ホームページおよび毒性学ニュースでお知らせします。

なお、学会主催講習会は、トキシコロジーに関する知識(基礎知識)を幅広く学習する基礎教育講習会とトキシコロジストとしての知識をアップデート・ブラッシュアップする生涯教育講習会として位置付けすることを基本方針として開催いたします。

「第20回日本毒性学会生涯教育講習会」

本講習会では、学習フレームを、①トピック、②トキシコロジスト・ブラッシュアップセミナーとして実施しております。是非、積極的なご参加をお待ちしております。

トピックスは、SOTの学術年会時に開催される教育コースから、2つのテーマを選び、新しい科学及び技術に関する最新のトピックスを学習する場としていきます。トキシコロジスト・ブラッシュアップセミナーでは、各種毒性反応について基礎メカニズムから社会的に最新の毒性学の話題を含め深く学習する場としていきます。また、学習テーマに関連する共通知識として「非病理学者のための病理学講義」をセミナーに組み入れていきます。

昨年より講習会資料はダウンロード形式としております。受講者の皆様には6月中旬にダウンロード方法をご案内いたします。

1. 日時

2019年6月29日(土)

2. 会場

あわぎんホール(徳島県郷土文化会館)(予定)

3. プログラム(仮)

1) SOT2019 報告: Continuing Education Course の話題をもとに

1-1 演者1(選定中) 9:00~9:45
AM07: Role of Toxicokinetics in Human Health Safety Assessments

1-2 演者2(選定中) 9:45~10:30
PM11: Conducting Systematic Review in Toxicology - Why, When, How?

(休憩 10:30~10:40)

2) トキシコロジスト・ブラッシュアップセミナー:
“臓器間ネットワーク~内分泌系などを中心として”

2-1 10:40~11:30

片桐 秀樹 先生(東北大学)
「臓器間ネットワークによるエネルギー代謝調節機構(仮)」

2-2 11:30~12:20

大月 道夫 先生(大阪大学)
「薬剤による内分泌障害の現状と課題-免疫チェックポイント阻害薬を中心に-」

(昼休憩 12:20~13:30)

2-3 13:30~14:20

野見山 桂 先生(愛媛大学)
「野生動物における有機ハロゲン化合物の代謝・動態と甲状腺を中心とした内分泌(仮)」

2-4 14:20~15:20

村上 雄一 先生(田辺三菱製薬株式会社)
「非病理学者のための病理学講義:内分泌関連臓器(仮)」

4. 参加費(1日フルコースとして設定)(予定)

事前申込	
会員	5,000円
非会員	7,000円
認定トキシコロジスト	3,000円
当日申込	
会員	7,000円
非会員	10,000円
認定トキシコロジスト	5,000円

「第22回日本毒性学会基礎教育講習会」

本講習会はトキシコロジストの体系的な基礎教育あるいは再教育を目的としております。集中講義によってトキシコロジー全般にわたる理解を深めたいと、10月に開催されます第22回日本毒性学会認定トキシコロジスト認定試験受験にお役立て下さい。3日間の講義を予定しています。

本年より講習会資料はダウンロード形式といたします。受講者の皆様には7月下旬にダウンロード方法をご案内いたします。

1. 日 時

2019年8月5日(月)～7日(水)

2. 会 場

星薬科大学

3. 参加費(予定)

一般会員	25,000円
学生会員	5,000円
非会員	30,000円
学生非会員	8,000円
認定トキシコロジスト	20,000円(2～3日受講) 10,000円(1日受講)

4. テキスト

「第3版トキシコロジー」(朝倉書店, 2018年5月)の内容を中心に講義を行う予定です。

「第22回日本毒性学会認定トキシコロジスト認定試験」

我が国の安全性試験の信頼性向上とトキシコロジーの進歩に寄与するため、質の高い専門家を認定するための試験です。受験資格の詳細については、毒性学ニュース及び学会ホームページの『一般社団法人日本毒性学会認定トキシコロジストの認定制度規程』をご覧ください。

1. 日 時(予定)

2019年10月6日(日)

2. 会 場(予定)

昭和大学 旗の台キャンパス

3. 受験料(予定)

30,000円

「認定トキシコロジスト資格の更新」

1999年, 2004年, 2009年, 2014年に認定トキシコロジストに認定された方(認定トキシコロジストNo.149～170, 262～303, 416～457, 553～576)は2018年が資格更新の時期となります。詳細は2018年12月頃にメールをお送りいたしますのでご確認ください。

毒性学ニュース, 学会ホームページの『一般社団法人日本毒性学会認定トキシコロジストの認定資格更新に関する細則』をご覧ください。

「認定トキシコロジスト試験問題作成依頼時期変更について」

例年12月中旬に認定トキシコロジスト試験問題作成のご案内をお送りしておりましたが、昨年より6月に変更いたしました。試験問題作成の締め切りは8月中旬を予定しています。なお、可能な限り、2018年5月発刊の「第3版トキシコロジー」からの出題をお願いいたします。その他、詳細につきましては、6月にご案内いたします。

第21回日本毒性学会認定トキシコロジスト 新規認定者

第21回認定トキシコロジスト認定試験を、2018年10月14日に昭和大学 旗の台キャンパスで行いました。その結果、所定の書類審査に合格し、試験問題総数200問の試験において140点以上の得点を獲得し、新たに認定トキシコロジストと認められた受験者は次の34名でした。

おめでとうございます。

なお、受験申請者の総数は84名でした。

赤川 唯	兒玉 利尚	高野 喬	諸木 孝泰
吾郷 恭平	齋藤 和智	高橋 圭	山内 啓史
石川 晋吉	志賀野美幸	武田 知起	山崎 華子
石田 未弥	嶋本 敬介	直田みさき	山田 貴宣
植松 礼奈	清水菜津子	萩原 顕昭	吉田しおり
丸藤ちひろ	霜山奈津美	藤森 能	利谷枝里子
木村 真之	鈴木 勇	南 健太	渡邊 洋祐
黒田 雄介	関口 路子	宮下 泰志	
剣持 明	赤根 弘敏	宮本 実	

(五十音順 敬称略)

2018年10月31日

一般社団法人日本毒性学会

理事長 熊谷 嘉人

教育委員会委員長 鈴木 陸

認定試験小委員会委員長 古川 賢

第46回日本毒性学会学術年会のご案内（第3報）

（年会ホームページ：<http://jsot2019.jp/>）

1. 会期

2019年6月26日（水）～6月28日（金）

2. 会場

アスティとくしま

〒770-8055 徳島県徳島市山城町東浜傍示1-1

URL：<http://www.asty-tokushima.jp>

3. テーマ

生命を守り、持続可能な環境・社会・産業の基盤となる毒性学

4. 年会長

姫野誠一郎（徳島文理大学 薬学部）

5. 企画委員（敬称略・五十音順）

青木 康展（国立環境研究所）

石塚真由美（北海道大学）

上原 孝（岡山大学）

小椋 康光（千葉大学）

鍛冶 利幸（東京理科大学）

菅野 純（日本バイオアッセイ研究センター）

北嶋 聡（国立医薬品食品衛生研究所）

小林 章男（日本たばこ産業（株））

佐藤 雅彦（愛知学院大学）

篠澤 忠紘（武田薬品工業（株））

鈴木 睦（協発発酵キリン（株））

高橋 祐次（国立医薬品食品衛生研究所）

苗代 一郎（医薬品医療機器総合機構）

中西 剛（岐阜薬科大学）

中村 和市（北里大学）

奈良岡 準（アステラス製薬（株））

西田 基宏（生理学研究所 / 九州大学）

平林 容子（国立医薬品食品衛生研究所）

広瀬 明彦（国立医薬品食品衛生研究所）

福井 英夫（Axcelead Drug Discovery Partners（株））

堀井 郁夫（ファイザー / 東京理科大学）

堀口 兵剛（北里大学）

松本 清（武田薬品工業（株））

山田 久陽（大正製薬（株））

横井 毅（名古屋大学）

吉田 緑（内閣府食品安全委員会）

吉成 浩一（静岡県立大学）

鰐淵 英機（大阪市立大学）

6. 特別企画

年会長招待講演，特別講演，教育講演，シンポジウム，ワークショップ，キャリア形成支援プログラム，市民公開セミナーを企画予定です。

7. 一般演題

1) 一般演題（口演およびポスター）を募集します。主発表者（プレゼンター）は本学会会員に限ります。現在非会員の方で発表を希望される方は、学会ホームページ掲載の入会申込書にて、演題申込締切日までに日本毒性学会事務局へ入会の手続を行って下さい。

日本毒性学会ホームページ：<http://www.jsot.jp/>

2) 演題登録はインターネットを利用したオンライン登録のみです。下記8に記載する「演題登録要領」を参照の上、年会ホームページから登録して下さい。

演題申込開始日：

2019年1月10日（木）（予定）

演題申込締切日：

2019年2月15日（金）（予定）

3) 一般演題は口演またはポスター発表とします。口演発表につきましては、発表と討論の時間を合わせて10～15分程度を予定しています。詳細は、演題申込数を考慮の上できるだけ早い時期にお知らせいたしますので、ホームページなどで随時ご確認下さい。発表方法は液晶プロジェクターのみです。ポスター発表は、毎日貼替えてポスター展示を行い、途中に質疑応答時間を設けます。

4) 優秀研究発表賞

2019年3月31日時点で35歳以下のポスター発表（筆頭著者）の方を対象として候補者を募集します。

応募者は演題申込時にその旨登録して下さい。

応募者はポスター発表に加え、別会場で口頭発表と質疑応答を第1日目（6月26日（水））に行っていただきます。受賞者の発表は、第2日目（6月27日（木））に行います。授賞式等詳細は、年会ホームページにて追ってご案内いたします。受賞者には、賞状と副賞を授与します。

5) 学生ポスター発表賞

学術年会(2019年6月26日(水))の時点で学生(大学院生を含む、ただし社会人大学院生は除く)のポスター発表(筆頭著者)の方を対象とします。

応募者は演題申込時にその旨登録して下さい。審査はポスター発表内容のみで行います。対象のポスターは第1日目(6月26日(水))に掲示し、受賞者の発表は、第2日目(6月27日(木))に行います。授賞式等詳細は、年会ホームページにて追ってご案内いたします。受賞者には、賞状と副賞を授与します。

※上記, 4), 5)の賞への重複申請は不可とします。

8. 演題登録要領

演題登録はインターネットを利用したオンライン登録のみです。締め切り間際はアクセス集中によりサーバー処理能力が極端に低下します。そのため、登録に時間を要する、あるいは登録が完了できないといった事態が生じることが予測されますので、演題募集要領と年会ホームページを熟読した上で、余裕をもって登録して下さい。

◆登録方法ならびに登録確認・訂正◆

年会ホームページにアクセスし、演題募集のメニューより案内に従って、次の流れのように登録を進めて下さい。なお、演題登録は発表者本人が行って下さい。発表者個人情報登録→一般演題登録→共著者・演題情報登録→登録内容確認→登録完了

1) 発表者個人情報登録

発表者は本学会会員に限ります。登録には会員番号(5桁)が必要です。パスワード(半角英数)は登録内容の確認や変更を行うときに使用します。4文字以上10文字以内で入力して下さい。なお、パスワードはメニューページの「パスワードを変更する」より変更することが可能です。入力したパスワードは各自で大切に記録・保管して下さい。

2) 共著者・演題情報登録

2-1) 共著者情報登録

共著者の氏名・所属を入力して下さい。共著者数は最大20名、所属機関名は最大15施設まで登録可能です。

2-2) 演題カテゴリ登録

詳細については、年会ホームページにて追ってご案内いたします。

2-3) 発表形式

発表形式を「口演」、「ポスター」、「どちらでも可」の中から選択して下さい。優秀研究発表賞もしくは学生ポスター発表賞に応募する場合は「ポスター」を選択して下さい。

優秀研究発表賞もしくは学生ポスター発表賞への応募の有無を選択して下さい。

2-4) 演題名

文字数について、登録ページの入力欄には、文字数制限がありません。下記を目処にお願いします。

日本語演題名 文字数:

最大全角80文字(スペース含め)

英語演題名 文字数:

最大半角200文字(スペース含め)

なお、演題名に特殊文字/上付き/下付き/ボールド/イタリックなどの文字を含む場合には、下記ページのHTMLタグを使用し、入力して下さい。

ただし、このHTMLタグは、上記文字数にはカウントしません。

<タグ一覧/特殊文字一覧/よく使用する特殊文字ページ>

http://www.senkyo.co.jp/tag/ja/tag_list.html

2-5) 要旨作成要領

文字数は全角で800文字以内(半角英数字は2文字を1文字に換算)です。本文中に演題名・所属・氏名・図表等を入れないで下さい。

3) 登録内容確認・訂正

登録の最後に登録情報の確認画面が表示されますので、内容を確認・訂正して下さい。後日改めて確認・訂正を行う場合は、登録時に入力したパスワードを用いて確認・訂正画面を表示させることができます。

4) 登録完了

登録が完了すると演題登録番号が表示されます。登録したメールアドレス宛てに演題登録完了メールが送信されますので確認して下さい。翌日まで経過してもメールが届かない場合は事務局までご連絡下さい。

9. 参加登録および参加費

事前参加申込開始日:

2019年1月10日(木)(予定)

事前参加申込締切日:

2019年5月1日(水)(予定)

1) 参加費

※ 学会会員の参加費は「不課税」、関連学会会員、非会員の参加費と懇親会費は「課税（消費税込）」となります。

	事前登録	当日受付
会 員	11,000 円	13,000 円
学生会員	3,000 円	4,000 円
* 関連学会会員	12,000 円	14,000 円
非 会 員	14,000 円	16,000 円
懇親会（一般）	9,000 円	11,000 円
懇親会（学生）	4,000 円	5,000 円

*は次の学会会員の方です。（50音順）

共催：日本中毒学会
 日本毒性病理学会
 日本免疫毒性学会
 日本薬理学会
 米国 SOT（Society of Toxicology）

協賛：日本安全性薬理研究会
 日本医薬品情報学会（予定）
 日本衛生学会
 日本環境変異原学会
 日本産業衛生学会
 日本実験動物学会
 日本獣医学会
 日本先天異常学会
 日本動物実験代替法学会（予定）
 環境ホルモン学会（日本内分泌攪乱化学物質学会）
 日本薬学会
 日本薬物動態学会

2) お支払い方法

- ・クレジットカード
- ・コンビニエンスストア

※決済等の詳細については、年会ホームページにて追ってご案内いたします。

10. 懇親会

次の通り懇親会を開催いたしますので、是非ご参加下さい。

日時：2019年6月27日（木）18：30～（予定）

場所：ホテルクレメント徳島

URL：https://www.jrclement.co.jp/tokushima/

※年会会場からシャトルバスにて移動（予定）

11. 展示、ランチョンセミナーなどの募集

展示、ランチョンセミナー、広告掲載を募集します。詳細については年会ホームページをご覧ください。

年会ホームページ：http://jsot2019.jp/

12. 宿泊予約

年会ホームページからの予約をお願いします。

詳細についてはホームページをご覧ください。

年会ホームページ：http://jsot2019.jp/

宿泊予約開始時期：2019年1月10日（木）（予定）

13. 年会事務局

〒770-8514 徳島県徳島市山城町西浜傍示 180

徳島文理大学薬学部衛生化学講座

事務局長：角 大悟

事務局次長：藤代 瞳

TEL：088-602-8459 or 8460 FAX：088-655-3051

E-mail：secretariat@jsot2019.jp

医薬品毒性機序研究部会主催 第1回 医薬品毒性機序研究会

医薬品毒性機序研究部会が発足しました。早速ですが、2019年1月10日、11日に第1回研究会を名古屋で開催いたします。医薬品毒性機序に関する研究者間の交流・情報交換の場として、シンポジウムと一般発表を予定しています。「薬物代謝・動態と医薬品毒性」のテーマに関する研究のみならず、広く話題を取り上げ、討論や議論がじっくりできる会を目指したいと思います。一般演題はすでに他学会で発表済みの内容や研究途中の内容であっても募集します。新しい研究会に皆様のご参加をお待ちしております。

会 期 2019年1月10日(木) - 11日(金)

会 場

名古屋大学 東山キャンパス 野依記念学術交流館
http://www.nagoya-u.ac.jp/upload_images/nucmjpdf
 〒464-8602 名古屋市千種区不老町
 名古屋大学東山キャンパス
 地下鉄名城線名古屋大学駅 下車 徒歩5分

実行委員長 横井 毅 (名古屋大学大学院医学系研究科)

テーマ 「薬物代謝・動態と医薬品毒性」

予定プログラム概要

- ◎シンポジウムは下記の6つを予定しています。
1. ヒト iPS 細胞を用いた医薬品毒性評価系の展開
 2. 動物モデルによる医薬品毒性機序評価研究とヒトへの外挿
 3. ここまで進化した in silico 医薬品毒性予測システム
 4. 医薬品毒性予測手法の現況と展望
 5. 薬物代謝・動態から医薬品毒性を考える
 6. 免疫関連因子から医薬品毒性を考える

◎ポスター発表 (若手優秀発表賞あり)
 ポスター形式の一般発表を募集します。
 (2~3分程度のフラッシュトークを全ての演題にお願いします。)

詳細につきましては、ホームページをご覧ください。
<http://www.senkyo.co.jp/iyakudokuken>

演題申込期間

2018年10月15日(月) ~ 11月26日(月)

事前参加登録 (12月14日(金)まで)
 一般 6,000円, 学生 3,000円

当日参加登録
 一般 7,000円, 学生 3,000円

全員懇親会: 同ポスター会場, 無料

事務局

名古屋大学大学院医学系研究科
 統合医薬学領域トキシコゲノミクス研究室
 織田 進吾
 〒466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町65
 TEL: 052-744-2110
 研究会事務局: dtml@med.nagoya-u.ac.jp

シンポジウム プログラム (敬称略)

シンポジウム1 (1月10日午前)
ヒト iPS 細胞を用いた医薬品毒性評価系の展開

S1-1 ヒト iPS 細胞を用いた in vitro 医薬品毒性予測システム: 消化管と血液毒性
 松永 民秀 (名古屋市立大学大学院薬学研究科)

S1-2 ヒト初代培養肝細胞との差別化を目指したヒト iPS 細胞由来肝細胞の開発と毒性評価系への応用
 水口 裕之 (阪大院薬, 医薬健栄研, 阪大 MEI セ)

S1-3 In vitro 評価系の応用性と今後の展望
 篠澤 忠紘 (武田薬品工業株式会社)

シンポジウム2 (1月10日午前)**動物モデルによる医薬品毒性機序研究とヒトへの外挿**

S2-1 ヒト肝臓キメラマウスを用いた抗体医薬品の肝毒性機序研究

仁平 開人 (協和発酵キリン株式会社研究開発本部
トランスレーショナルリサーチユニット)

S2-2 ヒト肝細胞キメラマウス (PXB マウス), およびキメラマウス由来新鮮ヒト肝細胞 (PXB-cells) の毒性予測系としての利用

立野 (向谷) 知世 (株式会社フェニックスパイオ)

S2-3 人工染色体技術を用いた創薬研究への応用

香月 康宏 (鳥取大学・染色体工学研究センター)

シンポジウム3 (1月10日午後)**ここまで進化した in silico 医薬品毒性予測システム**

S3-1 毒性データベースを用いた in silico 安全性予測

安部 賀央里 (名古屋市長立大学大学院薬学研究科
医薬品安全性評価学分野)

S3-2 薬物動態・毒性予測のための統合解析プラットフォーム

水口 賢司 (国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所)

S3-3 心毒性予測プラットフォームの構築

本間 光貴 (理化学研究所 生命機能科学研究センター)

シンポジウム4 (1月11日午前)**医薬品毒性予測手法の現況と展望**

S4-1 リアルタイム発光測定による細胞機能解析と毒性評価への応用

中島 芳浩 (産業技術総合研究所 健康工学研究部門)

S4-2 毒性メカニズム解析と in vitro 系を用いたヒトへの外挿性検討の事例紹介とその課題 (仮題)

藤本 和則 (第一三共株式会社 安全性研究所)

S4-3 クリニカルホールドを受ける前に前臨床試験ですべきこと: ヒトへの外挿性を検討した事例紹介 (仮題)
福井 英夫 (Axcelead Drug Discovery Partners, Inc
非臨床安全性研究)

シンポジウム5 (1月11日午前)**薬物代謝・動態から医薬品毒性を考える**

S5-1 医薬品毒性に対する non-P450 代謝の寄与

深見 達基 (金沢大学医薬保健研究域薬学系)

S5-2 薬物性肝障害発症へのミトコンドリアの関与

伊藤 晃成 (千葉大大学院薬学研究院)

S5-3 Acylglucuronide の毒性評価

横井 毅 (名古屋大学大学院医学系研究科)

S5-4 CAR 依存的肝発がんの種差における分子基盤

吉成 浩一 (静岡県立大学薬学部)

シンポジウム6 (1月11日午後)**免疫関連因子から医薬品毒性を考える**

S6-1 HLA ノックインマウス の作製と医薬品毒性評価への応用の可能性

原田 直幹 (大鵬薬品工業株式会社 研究本部)

S6-2 HLA トランスジェニックマウスを用いた薬物過敏症のメカニズム研究 (仮題)

青木 重樹 (千葉大大学院薬学研究院)

S6-3 重症薬疹の発症と関連する HLA 型とその発症機序における役割

中村 亮介 (国立医薬品食品衛生研究所 医薬安全科学部)

S6-4 OECD AOP プログラム及び免疫毒性 AOP 開発の現状と将来

大石 巧 (株式会社ボゾリサーチセンター 御殿場研究所)

2019年度日本毒性学会特別賞候補者推薦要領

社会における毒性学の認知度の向上, 発展, 充実に大きく貢献した非会員の研究者に日本毒性学会特別賞を授与する。

候補者の資格：日本毒性学会非学会員。

推薦者の資格：日本毒性学会理事1名。

表彰：授賞者数は毎年, 最大1名とし, 賞状および副賞を授与する。授賞式は日本毒性学会学術年会の総会終了後に行う。

受賞講演：受賞者（或いは代理人）は日本毒性学会学術年会にて受賞講演を行う。

候補者の推薦：推薦者は, 受賞候補者に関する下記事項を所定用紙に記入し, 日本毒性学会理事長宛(事務局)に電子メールで提出する。

- ・推薦書（候補者氏名, 授賞タイトルを所定の用紙に記入したもの）
- ・推薦理由（1,000字以内）
- ・特別賞の対象となる業績目録：原著論文, 総説・著書, 主催, 発表等

推薦書類の送付先：jsothq@jsot.jp
（日本毒性学会事務局）

推薦締切：2018年12月31日（月）

2019 年度日本毒性学会学会賞候補者推薦要領

毒性学に関連する顕著な研究業績をあげ、かつ日本毒性学会の発展充実に大きく貢献した本会会員に日本毒性学会学会賞を授与する。

候補者の資格：現に 10 年以上継続して日本毒性学会の会員であり、授賞年度の 4 月 1 日に満 65 歳以下である者。ただし、推薦される研究課題で既に他学会等の賞を受けている者は対象とならない。

推薦者の資格：日本毒性学会評議員 1 名。

表彰：授賞者数は毎年 1 名とし、賞状および副賞を授与する。授賞式は 2019 年度の日本毒性学会学術年会の総会終了後に行う。

受賞講演：受賞者は 2019 年度の日本毒性学会学術年會にて受賞講演を行う。

候補者の推薦：推薦者は、受賞候補者に関する下記事項を所定用紙に記入し、日本毒性学会理事長宛（事務局）に電子メールで提出する。なお、所定用紙（Word ファイル）は日本毒性学会ホームページ（<http://www.jsot.jp/award/index.html>）からダウンロードして使用すること。

- ・推薦書（候補者氏名、略歴、会員歴等を所定の用紙に記入したもの）
- ・推薦理由（2000 字以内）
- ・学会賞の対象となる業績目録：原著論文（J. Toxicol. Sci. 掲載論文に丸印を付ける）、総説・著書
- ・過去 5 年間に日本毒性学会学術年會で発表した一般講演演題リスト（共同著者となっている演題を含む）

推薦書類の送付先：jsotqh@jsot.jp
（日本毒性学会事務局）

推薦締切：2018 年 12 月 31 日（月）

2019 年度日本毒性学会奨励賞候補者推薦要領

毒性学に関する研究において独創的な研究業績をあげつつあり、将来が期待される本会会員に日本毒性学会奨励賞を授与する。

候補者の資格：現に 3 年以上継続して日本毒性学会の会員であり、授賞年度の 4 月 1 日に満 40 歳以下である者。ただし、推薦される研究課題で既に他学会等の賞を受けている者は対象とならない。

推薦者の資格：日本毒性学会評議員 1 名。

表彰：授賞者数は毎年 3 名以内とし、賞状および副賞を授与する。授賞式は 2019 年度の日本毒性学会学術年會の総会終了後に行う。

受賞講演：受賞者は 2019 年度の日本毒性学会学術年會にて受賞講演を行う。

候補者の推薦：推薦者は、受賞候補者に関する下記事項を所定用紙に記入し、日本毒性学会理事長宛（事務局）に電子メールで提出する。なお、所定用紙（Word ファイル）は日本毒性学会ホームページ（<http://www.jsot.jp/award/encourage.html>）からダウンロードして使用すること。

- ・推薦書（候補者氏名、略歴、会員歴等を所定の用紙に記入したもの）
- ・推薦理由（2000 字以内）
- ・奨励賞の対象となる業績の目録：原著論文（J. Toxicol. Sci. 掲載論文に丸印を付ける）、総説・著書
- ・過去 3 年間に日本毒性学会学術年會で発表した一般講演演題リスト（共同著者となっている演題を含む）

推薦書類の送付先：jsotqh@jsot.jp
（日本毒性学会事務局）

推薦締切：2018 年 12 月 31 日（月）

第 45 回日本毒性学会学術年会要旨集の販売について

第 45 回日本毒性学会学術年会の要旨集を 1 部 3,500 円（税・送料込）で販売します。ご希望の方は郵便局に備付けの郵便振替用紙に必要事項をご記入の上、下記口座までお振り込み下さい。ご納入確認後、要旨集を発送致します。

なお、学術年会（第 32 回以降）の要旨はオンライン（J-STAGE）でも閲覧が可能です（<http://www.jstage.jst.go.jp/browse/toxp/-char/ja>）。

振込先：口座番号	00150-9-426831
加入者名	一般社団法人日本毒性学会
要旨集価格	3,500 円（1 部）

通信欄記入事項：①住所 ②氏名（団体の場合は機関名・部署等）③電話番号
④第 45 回学術年会要旨集希望の旨

※通信欄のご記入住所へ送本致します。詳細なご記入をお願い致します。

問い合わせ先：日本毒性学会事務局
〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋 1-1-1
パレスサイドビル
株式会社毎日学術フォーラム内
TEL：03-6267-4550 FAX：03-6267-4555
E-mail：jsothq@jsot.jp

その他のお知らせ

第28回日本循環薬理学会

本学術集會を、2018年12月7日(金)に大田区産業プラザPiOにおいて開催いたします。

日本循環薬理学会は1991年に日本循環薬理研究会として発足し、1998年に学会へと発展しております。その名の通り、循環薬理学を志す、様々なバックグラウンドを持つ研究者・学生が、最新の情報を発表し、討論を行うことによって、循環薬理学研究の発展に資することを目的としております。第28回日本循環薬理学会学術集會では、今日国際空港として拡充しつつある近隣の羽田空港になぞらえ、知識集積と臨床応用のハブ空港でありたいと「連結と飛翔」をテーマに掲げました。特別講演では、鈴木洋史教授(東京大学医学部附属病院薬剤部試験研究室/臨床薬物動態学教室)に、生体分子の機能が集積・統合されたシステムとして生体を理解し次世代の創薬手法を確立することを目的とした「システム薬理学」をご紹介します。シンポジウムでは、南野哲男教授(香川大学医学部医学系研究科循環器・腎臓・脳卒中内科学)他に「Cardio-oncology(抗腫瘍療法における心血管毒性)」に関する話題をご提供いただく予定です。また本学術集會前日となる12月6日(木)に区民向けの公開講座「心臓マッサージの仕組みと大事な3つのコツ」を計画しております。一般演題を50題、若手研究者の育成を図るYoung Investigator Award(YIA)を募る演題を10題予定しております。多くの方のご参集を期待しております。

会場の大田区産業プラザPiOは京浜急行線京急蒲田駅から徒歩3分です。京急蒲田駅は交通の要所であり品川駅から6分、羽田空港国内線ターミナル駅から8分の好立地条件です。是非、第28回日本循環薬理学会に奮ってご参加ください。スタッフ一同、皆様にお会いできることを楽しみにしております。

会期 2018年12月7日(金)

演題募集期間 2018年7月17日(火)～9月28日(金)

事前参加登録 2018年7月17日(火)～10月26日(金)

会場 大田区産業プラザPiO コンベンションホール
〒144-0035 東京都大田区南蒲田1-20-20
(京浜急行「京急蒲田」駅より徒歩約3分)

HP <http://www.lab2.toho-u.ac.jp/med/pharmacology/gakkai/>

後援 日本安全性薬理研究会, 日本薬理学会,
日本生理学会, 日本毒性学会

第28回日本循環薬理学会

当番幹事 杉山 篤

東邦大学 医学部 薬理学講座 教授

第16回食品安全フォーラム プログラム

日時 平成30年12月7日(金) 13:30～17:20

場所 日本薬学会長井記念ホール(渋谷区渋谷2-12-15)

主催 日本薬学会レギュラトリーサイエンス部会

協賛・後援

日本食品衛生学会, 日本食品化学学会,
日本食品微生物学会, 日本薬学会生薬天然物部会,
日本薬学会環境・衛生部会, 日本薬学会医療薬科学部会,
日本微量元素学会, 日本分析化学会,
プラズマ分光分析研究会, 日本毒性学会

討論主題 「食品の安全確保に向けたミネラル・元素に関する最近の動向」

13:30～13:35

開会の辞

小椋 康光(千葉大学, 本会実行委員長)

13:35～13:40

レギュラトリーサイエンス部会長挨拶

矢守 隆夫(独立行政法人医薬品医療機器総合機構)

〈座長〉小椋 康光(千葉大学大学院薬学研究院)

13:40～14:20

「水銀およびその化合物の生体影響:メチル水銀に関する
出生コホート研究の最近の動向を中心に」

佐藤 洋(内閣府食品安全委員会)

14:20～15:00

「食品からのカドミウム曝露の健康リスクについての再検討」

堀口 兵剛(北里大学医学部)

休憩 15:00～15:20

〈座長〉穂山 浩(国立医薬品食品衛生研究所)

15:20～16:00

「清涼飲料水中の六価クロムの安全性評価について」

増村 健一(国立医薬品食品衛生研究所)

16:00～16:40

「食品の微量元素分析と産地判別への応用」

保倉 明子(東京電機大学工学部)

〈座長〉佐藤 恭子 (国立医薬品食品衛生研究所)

16:40 ~ 17:20

「食品安全行政の最近の動向」

関野 秀人 (厚生労働省)

17:20 ~ 17:25

閉会の辞

近藤 一成 (国立医薬品食品衛生研究所, 次回実行委員長)

懇親会 17:30 ~

申し込み

①ご氏名 (フリガナ), ②ご所属, ③電話番号, ④E-MAIL, ⑤懇親会参加可否, ⑥日本薬学会又は協賛学会会員の方は「ご所属学会名」及び「会員 No.」を, 学生の方は「学生」と明記下さい (⑥が空欄の場合, 参加料は一般: ¥3,000 となります)。以上をご記入の上, 下記アドレスまでお送りください。

shokuhin-anzen@chiba-u.jp

(第16回食品安全フォーラム 事務局)

参加申込締め切り 11月23日 (金)

参加費

一般	3,000 円
主催・協賛・後援学会員	2,000 円
学生	1,000 円
懇親会のみ	1,000 円

お問い合わせ先

shokuhin-anzen@chiba-u.jp

(第16回食品安全フォーラム 事務局 田中 佑樹)

第10回日本安全性薬理研究会学術年会

詳細は本会ホームページ <http://j-sps.org/> を参照下さい。

学術年会長 千葉科学大学薬学部 安東 賢太郎

会期 2019年3月1, 2日 (金, 土)

会場 大田区産業プラザ PiO

〒144-0035 東京都大田区南蒲田1丁目20-20

京浜急行「京急蒲田」駅より徒歩約3分

JR 京浜東北線, 東急池上・多摩川線「蒲田」駅より

徒歩約13分

参加申込

・参加費

会 員 事前 6,000 円, 当日 8,000 円

非会員 事前 6,000 円, 当日 10,000 円

・オンラインによる事前登録 (詳細は本会ホームページ参照)

申込期間: 2018年11月1日 (木) ~ 2019年2月15日 (金)

一般演題募集

・ポスター発表及び Flush talk

(詳細は本会ホームページ参照)

・申込期限: 2019年1月18日 (金)

懇親会

・日 時: 2019年3月1日 (金) 19:00 ~ 21:00

・会 場: 大田区産業プラザ PiO コンベンションホール

・参加費: 5,000 円

学術年会参加事前登録と同時に申込が必要

プログラム (案)

(時間割および詳細は本会ホームページ参照)

1. 特別講演

・「アジアにおける臨床開発と最近の規制の変化」

2. 海外招待講演

・「高分子医薬品の安全性薬理」

・「CiPA の ICH での位置づけ」

3. シンポジウム

・腫瘍循環器: 抗がん薬による心循環器系有害作用の惹起機序

・中枢神経系: 評価方法

4. ワークショップ

・安全性薬理研究会の取り組み (In silico 交流会, SEND, CNS 交流会)

5. 安全性薬理 Q&A

6. ランチョンセミナー

7. 一般演題 (ポスター発表, Flush talk)

以上

毒性学ニュース索引 (43 卷)

毒性学ニュース索引 (43 巻)

日本毒性学会からのお知らせ

第 45 回日本毒性学会学術年会のご案内 (第 4 報)	No. 1	1
第 45 回日本毒性学会学術年会のご案内 (第 5 報)	No. 2	20
第 45 回日本毒性学会学術年会のご案内 (第 6 報)	No. 3	42
第 46 回日本毒性学会学術年会のご案内 (第 1 報)	No. 4	57
第 46 回日本毒性学会学術年会のご案内 (第 2 報)	No. 5	98
第 46 回日本毒性学会学術年会のご案内 (第 3 報)	No. 6	110
第 45 回日本毒性学会学術年会報告	No. 5	95
第 45 回日本毒性学会学術年会と第 40 回日本中毒学会学術集会の同時開催について	No. 2	24 / No. 3 46
第 44 回日本毒性学会学術年会要旨集の販売について	No. 1	9 / No. 2 25
第 45 回日本毒性学会学術年会要旨集の販売について	No. 4	61 / No. 5 97 / No. 6 117
第 20 回日本毒性学会生涯教育講習会案内	No. 5	104
第 21 回日本毒性学会基礎教育講習会日程	No. 2	19 / No. 3 41
第 21 回日本毒性学会認定トキシコロジスト認定試験	No. 3	31 / No. 4 51
第 21 回日本毒性学会認定トキシコロジスト新規認定者	No. 6	109
第 57 回 Society of Toxicology (SOT) 学術年会派遣報告①	No. 4	62
第 57 回 Society of Toxicology (SOT) 学術年会派遣報告②	No. 4	63
第 40 回日本中毒学会総会・学術集会開催のご案内	No. 2	23 / No. 3 45
2018 年度一般社団法人日本毒性学会 評議員会・社員総会報告	No. 5	71
2019 年度日本毒性学会特別賞候補者推薦要領	No. 4	59 / No. 5 100 / No. 6 115
2019 年度日本毒性学会学会賞候補者推薦要領	No. 4	60 / No. 5 101 / No. 6 116
2019 年度日本毒性学会奨励賞候補者推薦要領	No. 4	60 / No. 5 101 / No. 6 116
日本毒性学会教育委員会からのお知らせ (第 1 報)	No. 6	107
日本毒性学会教育委員会からのお知らせ (第 2 報)	No. 1	5
日本毒性学会教育委員会からのお知らせ (第 3 報)	No. 2	15
日本毒性学会教育委員会からのお知らせ (第 4 報)	No. 3	37
日本毒性学会認定トキシコロジスト認定試験願書	No. 3	33 / No. 4 53
認定試験受験資格のための評点表	No. 3	35 / No. 4 55
米国毒性学会 (SOT) 教育コースへの派遣者公募	No. 5	102
2018 年度年会費の納入のお願い	No. 3	27
生体金属部会主催 メタルバイオサイエンス研究会 2018	No. 4	58
医薬品毒性機序研究部会主催 第 1 回 医薬品毒性機序研究会	No. 5	99 / No. 6 113
社員総会開催のご案内と出欠票 (委任状) 提出のお願い	No. 1	10 / No. 2 14
社員総会開催のご案内と電磁的総会出欠 (委任状) 回答システムへのご登録のお願い	No. 3	47
理事長就任の御挨拶	No. 5	65
日本毒性学会理事監事	No. 5	70
日本毒性学会各種委員会委員長	No. 5	70
特別寄稿 「日本毒性学会の将来に望むもの」 佐藤哲男	No. 5	66
松澤利明博士 追悼文	No. 2	11
石川栄世先生 追悼文	No. 5	69
クレジットカードによる会費取納導入のお知らせ	No. 2	13
トキシコロジー第 3 版 (朝倉書店) の刊行について	No. 1	8 / No. 2 12 / No. 3 48
「学会賞を受賞して」 熊谷 嘉人	No. 5	88
「奨励賞を受賞して」 徳本 真紀	No. 5	89
「奨励賞を受賞して」 櫻井 健	No. 5	89
「技術賞を受賞して」 讃岐 陽介	No. 5	90
「技術賞を受賞して」 白井 達哉	No. 5	90
「田邊賞を受賞して」 中瀬古 (泉) 寛子	No. 5	91
「田邊賞を受賞して」 諫田 泰成	No. 5	91
「田邊賞を受賞して」 川本 泰輔	No. 5	92
「ファイザー賞を受賞して」 郡 久美子	No. 5	92
「ファイザー賞を受賞して」 辻田 恭子	No. 5	93
「ファイザー賞を受賞して」 木村 朋紀	No. 5	93
「ファイザー賞を受賞して」 斎藤 幸一	No. 5	94

その他のお知らせ

フォーラム 2018: 衛生薬学・環境トキシコロジー	No. 3	49
第 7 回 DIA カーディアックセーフティ・ワークショップ	No. 5	106
第 10 回日本安全性薬理研究会学術年会	No. 6	118
第 16 回食品安全フォーラム プログラム	No. 5	105 / No. 6 118
第 25 回 H A B 研究機構学術年会「人体模倣システムを用いた創薬研究基盤技術の新基軸」	No. 2	26
第 28 回日本循環薬理学会	No. 4	64 / No. 5 105 / No. 6 119

一般社団法人日本毒性学会の定款および規程類について

日本毒性学会の定款および規程類については、最新版が学会ホームページ (http://www.jsot.jp/about/rule_list.html) に掲載されています。

特に重要な変更があった場合は、毒性学ニュースで周知を図ることとします。

- 一般社団法人日本毒性学会 定款
- 一般社団法人日本毒性学会 評議員選出規程
- 一般社団法人日本毒性学会 理事・監事選出規程
- 一般社団法人日本毒性学会 理事および監事候補の選出に関する細則
- 一般社団法人日本毒性学会 常置委員会共通規程
- 一般社団法人日本毒性学会 名誉会員・功労会員推薦規程
- 一般社団法人日本毒性学会 入会規程
- 一般社団法人日本毒性学会 賛助会員に関する規程
- 一般社団法人日本毒性学会 特別賞選考規程
- 一般社団法人日本毒性学会 学会賞選考規程
- 一般社団法人日本毒性学会 奨励賞選考規程
- 一般社団法人日本毒性学会 技術賞選考規程
- 一般社団法人日本毒性学会 田邊賞選考規程
- 一般社団法人日本毒性学会 ファイザー賞選考規程
- 一般社団法人日本毒性学会 日化協 LRI 賞選考規程
- 一般社団法人日本毒性学会 認定トキシコロジストの認定制度規程
- 一般社団法人日本毒性学会 認定トキシコロジストの資格更新に関する細則
- 一般社団法人日本毒性学会 名誉トキシコロジスト表彰に関する細則
- 一般社団法人日本毒性学会 米国毒性学会教育コースへの学会員派遣に関する規程
- J. Toxicol. Sci. 投稿規程
- Fundam.Toxicol.Sci. 投稿規程
- 一般社団法人日本毒性学会 動物実験に関する指針
- 一般社団法人 日本毒性学会 個人情報の適正な管理・利用等に関する基本方針
- 一般社団法人日本毒性学会 部会に関する規程

マイクロバイオーム研究の 受託業務



マイクロバイオームを持たない無菌動物、単離菌または複数の既知の菌株を定着させたノトバイオート動物や細菌叢を定着させた動物を一定期間飼育環境を維持するためにはビニールアイソレータ(VI)を使用することが最適です。当社では長年の経験で得た無菌動物生産技術をもとにマイクロバイオームの研究支援を行ないます。

● 無菌動物

無菌マウスを常時生産しております。

MCH(ICR) [Gf]・C57BL/6N [Gf]
BALB/cA [Gf]・IQL [Gf]

● ノトバイオート作製

無菌マウスに単独あるいは複数の腸内細菌を移植します。必要に応じて定着を確認します。疾患モデルマウスの腸内細菌や、ヒト糞便の移植も可能です。また、お手持ちの遺伝子改変マウスを無菌化した後、特定の腸内細菌を移植し管理することも可能です。

● ノトバイオート化マウスを使った受託試験

シングルノトバイオートマウスや、ヒト糞便移植叢を移植したマウスを使った試験を受託致します。各種データ採取についても、お問合せください。実施場所は、川崎市または富士宮市の当社施設(実験室を併設)を使用します。

※ヒト糞便移植実験は、川崎施設を利用。

● 研究を支える動物管理技術

In Vivoマイクロバイオーム研究では、微生物学的制御が可能なビニールアイソレータ(VI)を使用します。これはヒトから動物への感染の防御とともに、移植された細菌からのヒトへの防御にもつながります。また、長期に亘る腸内細菌叢の維持が可能です。

オプション

- 糞便のT-RFLP解析による腸内細菌叢解析、菌叢比較解析、有機酸分析、腐敗産物分析、アンモニア分析、ph、微生物定量分析(リアルタイムPCR法)
- 移植細菌の定着確認(PCR)
- 血液生化学データ、病理組織作成、採材
- 薬物の経時的投与、定期糞便採取
- Tg、KOマウスの無菌化
- ヒト糞便移植
- 特殊飼料給餌試験

※移植細菌(叢)は研究者側にてご用意ください。

 **日本クリア株式会社**

<http://www.CLEA-Japan.com>

受注センター TEL.03-5704-7123 FAX.03-3792-2368

東京AD部 TEL.03-5704-7050 FAX.03-3792-2032
大阪AD部 TEL.06-4861-7101 FAX.06-4861-7108

仙台出張所 TEL.022-352-4417 FAX.022-352-4419
札幌出張所 TEL.011-631-2725 FAX.011-644-9209

医薬品開発をトータルにサポート

基礎検討試験

前臨床試験

臨床試験

薬物動態試験

- High Quality -

高品質なデータの提供

- Globalization -

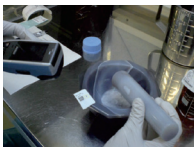
グローバルな事業展開

- Prompt Response -

迅速なサービスの提供

充実した支援体制

- AAALAC International（国際実験動物ケア評価認証協会）認証
- FDA IND/NDA電子化申請対応（CDISC SEND）
- バーコードによるミス防止システム
- 世界中どこからでも閲覧可能



Leica Aperio AT2



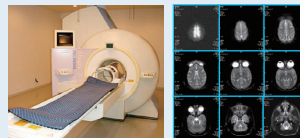
カニクイザル眼球HE染色

最新機種の導入

- Erenna Immunoassay System(EMD Millipore)



- MRI



Siemens Allegra 3.0T

カニクイザル頭部 (T2WI)

- qPCR



ABI 7500 Fast

お問い合わせ先

株式会社新日本科学

<https://www.snbl.co.jp/>

Email: info@snbl.co.jp

TEL: 03-5565-6140





HepaRG®・初代肝細胞



Hepatocyte Spheroid

- HepaRG®凍結バイアル
- HepaRG®増殖培養キット
- HepaRG®プレート播種タイプ
- CYP3A4G/7R HepaRG®

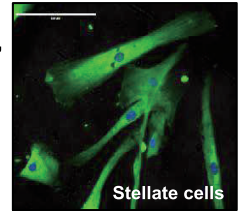
- CYP3A4の発現を緑色蛍光で検出可能

鳥取大学 (WO2014061829A1; 薬物代謝酵素誘導および細胞毒性の評価方法、
ならびにそのためのベクターおよび細胞) が開発

- ヒト凍結肝細胞
- 接着 / 非接着 / スフェロイド培養用
- アニマル凍結肝細胞
- 動物種: マウス、ラット、イヌ、サル 等

NEW

- ヒト凍結非実質肝細胞、星細胞
- ヒト非凍結肝細胞
(プレート播種タイプ)



Stellate cells

受託試験

- 薬物相互作用評価試験

- 肝毒性評価試験
- 腎毒性評価試験



お問い合わせは・・・



株式会社 ケーエーシー
<http://www.kacnet.co.jp/>

試薬営業グループ
TEL:03-5807-7162
e-mail: shiyaku-info@kacnet.co.jp

研究用試薬

一般社団法人 日本毒性学会

[名誉会員]

今道 友則	堀口 俊一	福田 英臣	池田 正之
加藤 隆一	白須 泰彦	黒岩 幸雄	井村 伸正
佐藤 哲男	渡辺 民朗	高橋 道人	榎本 眞
小野寺 威	遠藤 仁	菅野 盛夫	黒川 雄二
鎌滝 哲也	赤堀 文昭	土井 邦雄	長尾 拓
福島 昭治	津田 修治	吉田 武美	堀井 郁夫
大野 泰雄			

[功労会員]

高仲 正	前川 昭彦	佐藤 温重	安田 峯生
菊池 康基	田中 悟	大沢 基保	今井 清
降矢 強	玄番 宗一	唐木 英明	仮家 公夫
暮部 勝	野村 護	牧 栄二	山添 康
上野 光一	三森 国敏	佐神 文郎	遠山 千春

[賛助会員]

旭化成ファーマ(株)	味の素製薬(株)	(五十音順)
あすか製薬(株)	アステラス製薬(株)	
(株)安評センター	(株)イナリサーチ	
エーザイ(株)	(株)LSIメディアエンス	
大塚製薬(株)	小野薬品工業(株)	
杏林製薬(株)	協和発酵キリン(株)	
興和(株)	(株)三和化学研究所	
塩野義製薬(株)	昭和電工株式会社	
(株)新日本科学	(一財)生物科学安全研究所	
ゼリア新薬工業(株)	千寿製薬株式会社	
第一三共(株)	大正製薬(株)	
大日本住友製薬(株)	大鵬薬品工業(株)	
武田薬品工業(株)	田辺三菱製薬(株)	
中外製薬(株)	帝人ファーマ(株)	
(株)DIMS 医科学研究所	トーアエイヨー(株)	
東レ(株)	(一社)日本化学工業協会	
日本香料工業会	日本新薬(株)	
日本たばこ産業(株)	ファイザー(株)	
(株)ボゾリサーチセンター	Meiji Seika ファルマ(株)	
持田製薬(株)	ライオン(株)	

[役員] (2017～2018年度)

理事長	熊谷 嘉人	小川久美子	小椋 康光
理事	青木 豊彦	菅野 純	北嶋 聡
	鍛冶 利幸	鈴木 睦	高崎 涉
	小林 章男	苗代 一郎	永沼 章
	角崎 英志	福井 英夫	藤原 泰之
	広瀬 明彦	三浦 伸彦	宮脇 出
	三浦 伸彦	吉成 浩一	山田 久陽
監事	中村 和市	姫野誠一郎	

[学術年会長]

第45回 (2018年) 務台 衛
 第46回 (2019年) 姫野誠一郎
 第47回 (2020年) 広瀬 明彦
 第48回 (2021年) 福井 英夫

[委員会] (2018～2019年度)

- 総務委員会
- ◆ 連携小委員会
- ◆ 評議員選考小委員会
- ◆ 名誉会員および功労会員選考小委員会
- ◆ 指針値検討小委員会
- 財務委員会
- 編集委員会
- ◆ JTS 編集委員会
- ◆ FTS 編集委員会
- ◆ Executive Editor 小委員会
- ◆ 田邊賞選考小委員会
- 教育委員会
- ◆ 生涯教育小委員会
- ◆ 基礎講習会小委員会
- ◆ 認定試験小委員会
- 学術広報委員会
- ◆ 学会賞等選考小委員会
- ◆ 特別賞等選考小委員会
- ◆ 技術賞選考小委員会
- ◆ 日化協 LRI 賞選考小委員会
- ◆ 学術小委員会
- ◆ 広報小委員会
- ★その他関連の委員会
 - IUTOX President
 - ASIATOX 担当

●印：常置委員会 ◆印：小委員会

広瀬 明彦	(委員長)		
青木 豊彦	小椋 康光	鍛冶 利幸	
熊谷 嘉人	鈴木 睦	永沼 章	
菅野 純	(委員長)		
小川久美子	北嶋 聡	中村 和市	
広瀬 明彦	山田 久陽		
佐藤 雅彦	(委員長)		
小林 章男	苗代 一郎	藤原 泰之	
三浦 伸彦	(委員長)		
広瀬 明彦	(委員非公開)		
広瀬 明彦	(委員長)		
市原 学	北嶋 聡	渋谷 淳	
鈴木 睦	三島 雅之		
青木 豊彦	(委員長)		
小川久美子	福井 英夫	藤原 泰之	
鍛冶 利幸	(委員長)		
青木 康展	阿部(富澤)香織	有蘭 幸司	
市原 学	熊谷 嘉人	佐藤 雅彦	
渋谷 淳	神野 透人	鈴木 雅実	
曾根 秀子	中川 一平	永沼 章	
中村 和市	沼澤 聡	福島 民雄	
藤原 泰之	務台 衛	山田 久陽	
山手 丈至	山本 千夏	吉成 浩一	
鍛冶 利幸	(委員長)		
永沼 章	(委員長)		
永沼 章	(委員長)		
未 定	(副委員長以下非公開)		
鈴木 睦	(委員長)		
高崎 涉	古川 賢		
鈴木 睦	(委員長)		
五十嵐勝秀	石塚真由美	於勢 佳子	
真田 尚和	姫野誠一郎	義澤 克彦	
高崎 涉	(委員長)		
小野寺博志	(副委員長)		
朝倉 省二	桑原 正貴	橋本 清弘	
古川 賢	和久井 信		
古川 賢	(委員長)		
(副委員長以下非公開)			
小椋 康光	(委員長)		
永沼 章	(委員長)		
(委員非公開)			
小椋 康光	(委員長)		
(委員非公開)			
清水 俊敦	(委員長)		
(委員非公開)			
北嶋 聡	(委員長)		
(委員非公開)			
山田 久陽	(委員長)		
天野 幸紀	石塚真由美	高崎 涉	
高橋 祐次	藤原 泰之	吉成 浩一	
久田 茂	(委員長)		
児玉 見孝	(副委員長)		
橋本 愛			

2018年 12月1日 印刷

2018年 12月1日 発行

発行人 熊谷嘉人

編集人 鍛冶利幸

発行所 一般社団法人日本毒性学会

学会事務局 〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋 1-1-1

パレスサイドビル

(株)毎日学術フォーラム

一般社団法人日本毒性学会事務局

TEL (03) 6267-4550 FAX (03) 6267-4555

E-mail : jsothq@jsot.jp

振替 00150-9-426831

<http://www.jsot.jp>

印刷所 株式会社仙台共同印刷

〒983-0035 仙台市宮城野区日の出町二丁目4-2

TEL (022) 236-7161